



平成26年の横浜税関管内における密輸事犯

1. 社会悪物品の密輸入事犯の摘発状況

◎ 不正薬物の密輸入事犯の摘発件数は、89件、押収量は、約52kgとなり、押収量は昨年より減少したものの、摘発件数は過去最大となった。

- 国際郵便による密輸入事犯の摘発件数が82件となり、過去最大
- 海上貨物から10kgを超える大口覚醒剤密輸入事犯を2件摘発
- 大麻及び麻薬の摘発件数が大幅に増加

◎ 種類別の摘発件数は、

- 覚醒剤 5件(前年より2件増)
- 大麻 35件(前年より24件増と大幅に増加)
- 麻薬 48件(前年より38件増と大幅に増加)

◎ 種類別の押収量は、

- 覚醒剤 約45kg(前年より約195kg減)
- 大麻 約6kg(前年より約6kg増)
- 麻薬 約0.3kg(前年より約118kg減)

2. 主な社会悪物品の密輸入事犯の摘発実績(全国・横浜)

種類	年	平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年		前年比	
			横浜		横浜		横浜		横浜		横浜		横浜
覚醒剤	件	152	-	185	5	141	4	154	3	174	5	113%	167%
	kg	322	-	402	69	482	7	859	241	549	45	64%	19%
大麻	件	59	-	71	2	82	5	66	11	99	35	150%	318%
	kg	27	-	57	0	132	1	13	1	74	6	574%	913%
大麻草	件	45	-	57	2	58	3	52	11	52	17	100%	155%
	kg	2	-	6	0	104	0	12	1	35	5	284%	751%
大麻樹脂	件	14	-	14	-	24	2	14	-	47	18	336%	全増
	kg	25	-	51	-	29	1	1	-	40	1	54.5倍	全増
あへん	件	2	-	2	-	-	-	1	-	-	-	全減	-
	kg	3	-	4	-	-	-	0	-	-	-	全減	-
麻薬	件	50	5	37	2	46	3	128	10	91	48	71%	480%
	kg	11	1	44	-	11	-	135	118	6	0	5%	0%
	千錠	16	5	5	3	4	3	17	2	2	2	13%	94%
ヘロイン	件	4	2	6	-	3	-	3	-	2	-	67%	-
	kg	1	1	3	-	1	-	4	-	0	-	0%	-
コカイン	件	11	1	9	-	7	-	10	1	10	4	100%	400%
	kg	6	0	38	-	9	-	127	118	2	0	2%	0%
MDMA等	件	2	-	4	-	5	-	6	1	5	3	83%	300%
	kg	-	-	2	-	0	-	3	0	0	0	0%	20%
	千錠	0	-	0	-	0	-	0	-	0	0	550%	全増
ケタミン	件	10	-	1	-	8	-	5	-	7	-	140%	-
	kg	4	-	0	-	0	-	0	-	1	-	494%	-
メチロン	件	3	-	3	-	2	-	2	-	3	2	150%	全増
	kg	0	-	1	-	-	-	0	-	0	0	200%	全増
	千錠	-	-	-	-	0	-	-	-	-	-	-	-
その他麻薬	件	20	2	14	2	21	3	102	8	64	39	63%	488%
	kg	0	-	0	-	0	-	1	0	3	0	590%	876%
	千錠	16	5	5	3	4	3	17	2	2	2	13%	91%
向精神薬	件	33	7	31	3	39	2	33	3	26	1	79%	33%
	kg	1	-	2	-	-	-	0	-	-	-	全減	-
	千錠	14	6	13	3	12	1	10	2	9	2	88%	105%
合計	件	296	12	326	12	308	14	382	27	390	89	102%	330%
	kg	364	1	509	69	626	8	1,007	359	630	52	63%	14%
	千錠	30	11	18	6	16	4	27	4	11	4	41%	99%
(参考)使用回数	万回	1,133	-	1,550	-	1,701	-	3,331	-	1,885	-	57%	-
銃砲	件	-	-	-	-	3	-	4	-	3	-	75%	-
	丁	-	-	-	-	4	-	6	-	4	-	67%	-
銃砲部品	件	-	-	1	-	3	-	-	-	2	-	全増	-
	点	-	-	1	-	3	-	-	-	2	-	全増	-

- (注) 1.税関が摘発した密輸入事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で、税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
2.覚醒剤は、覚醒剤及び覚せい剤原料の合計数量を示す。
3.大麻樹脂は、大麻樹脂その他の大麻の製品の合計数量を示す。
4.MDMA等は、MDMA、MDA及びMDEの合計数量を示す。
5.(参考)使用回数は、以下の不正薬物について、乱用者の通常の一回分使用量をもとに換算し、合計したものである。
(覚醒剤:0.03g、大麻草:0.5g、大麻樹脂:0.1g、ヘロイン:0.01g、コカイン:0.03g、あへん:0.3g、MDMA等及び向精神薬:1錠)
6.端数処理のため数値が合わないことがある。
7.数量の表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全く無い場合を示す。
8.平成26年の数値は速報値である。

3. 不正薬物の密輸形態別摘発件数(全国・横浜)

(件)

形態別	平成22年		平成23年		平成24年		平成25年		平成26年	
	年	横浜	年	横浜	年	横浜	年	横浜	年	横浜
航空機旅客等による密輸	152	2	175	1	130	3	135	0	171	1
国際郵便物を利用した密輸	110	10	102	9	130	7	204	24	166	82
商業貨物等を利用した密輸	27	0	41	1	33	2	30	1	39	6
航空貨物等	20	0	37	0	25	0	26	0	27	0
海上貨物等	7	0	4	1	8	2	4	1	12	6
船員等による密輸	7	0	8	1	15	2	13	2	14	0
合計	296	12	326	12	308	14	382	27	390	89

(注1 航空機旅客等には、航空機乗組員を含み、船員等には、船舶旅客を含む。また、商業貨物等には、別送品を含む。)

4. 主な摘発事例

【社会悪事犯】

石材に隠匿されたメキシコ来覚醒剤密輸入事犯

平成26年1月、メキシコから到着した海上貨物である石材の輸入検査において、石材内部に隠匿された覚醒剤約24kgを発見・摘発した。



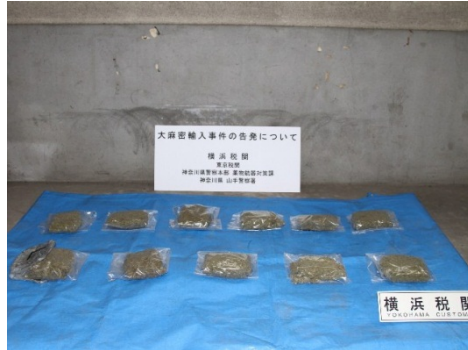
自動車に隠匿された米国来覚醒剤密輸入事犯

平成26年10月、米国から到着した海上貨物である自動車の輸入検査において、運転席及び助手席の足元に隠匿された覚醒剤約17kgを発見・摘発した。



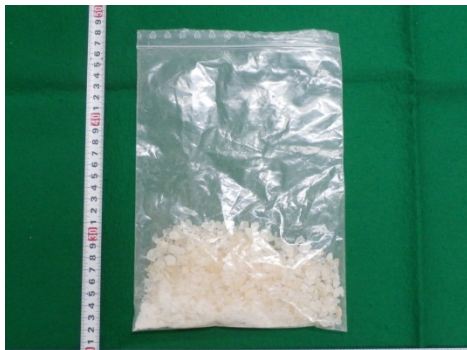
自動車に隠匿された米国来大麻密輸入事犯

平成26年12月、米国から到着した海上貨物である自動車の輸入検査において、後部スペアタイヤ収納部分に隠匿された大麻約5kgを発見・摘発した。



国際郵便路線を利用したオランダ来麻薬密輸入事犯

平成26年8月、オランダから到着した郵便物を検査したところ、麻薬(通称メチロン)約100グラムを発見・摘発した。



国際郵便路線を利用したカナダ来大麻密輸入事犯

平成26年9月、カナダから到着した郵便物を検査したところ、大麻約60グラムを発見・摘発した。



カナダ来麻薬密輸入事犯を相次いで摘発

平成26年8月から12月にかけてカナダ来の郵便物から麻薬(通称4-MMC)を含有した植物片の摘発が相次ぎ、同様事犯を24件摘発した。



【その他の事犯】

外国産冷凍豚肉不正輸入事犯

平成26年12月、カナダ等から外国産冷凍豚部分肉を輸入する際に、偽った価格を記載した仕入書に基づいて輸入申告を行い、関税約17億5千万円を免れていた法人1社及び日本人1名を千葉地方検察庁に告発した。

連絡・問合せ先

横浜税関 調査部

特別審理官(第1担当): 小澤

TEL045-212-6080

